

事務事業名		花き振興事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 21 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興			
	基本事業名	01 農業経営の安定化			
根拠法令				予算科目 会計 01 款 06 項 01 目 3 事業 22	
所属	部課名	農林水産部 農林課			
	課長名	田中 聖一			
	係名	農政係	電話 27-3111		
	担当者	佐々木 智紘	内線 7124		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内の花き生産者等の連携のもとに、大船渡市産花きを広く内外にPRし販売促進に努め、大船渡市の花き産業の振興を図ることを目的に、平成21年度から新たなイベントとして「花っこinおおふなと」を開催。 ・平成21年度は、花き生産者等と連携を図りながら企画し、市が主催となり初開催。 ・平成22年度に花っこinおおふなと実行委員会を設立し、市は、実行委員会の構成団体としてイベントの企画・運営に参画するとともに、事務局として実行委員会の事務・会計処理を行う。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標				
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 平成27年6月13～14日に「花っこinおおふなと2015」を実施した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 平成28年6月4～5日に「花っこinおおふなと2016」を実施予定。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア イベント開催日数 日 イ ウ	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 実行委員会構成団体数(22年度設立) 団体 キ 市内花き生産者数 戸 ク		
			② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 花っこinおおふなと実行委員会	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 打合せ会(実行委員会)開催回数 回 シ イベント来場者数 人 ス イベントにおける花壇苗販売額 千円

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	480	420	0	0	0
			事業費計（A）	千 円	0	480	420	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	0	240	240	200	200	200	
		人件費計（B）	千 円	0	960	960	800	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	1,440	1,380	800	800	800	
⑤活動指標		ア	日	-	2	2	2	2	2	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	団体	-	5	5	5	5	5	
		キ	戸	11	11	11	10	10	10	
		ク								
⑦成果指標		サ	回	-	3	3	2	2	2	
		シ	人	-	1000	1500	1300	1700	1700	
		ス	千円	-	456	463	388	348	400	

事務事業ID	1341	事務事業名	花き振興事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
大船渡市が平成19年度に、花の愛好家の遺族から、大船渡市の花き振興に役立ててほしいと寄付を受けたことに伴い、市では、この寄付金を有効に活用するために関係機関等と連携しながら協議を重ね、新たなイベントを企画・開催することとした。このイベントを契機として、大船渡市産花きへの理解を深め、大船渡市産花きを家庭や地域などでもっと積極的に活用してもらい、大船渡市の花き振興及び農業全般の活性化を図るために、この事業を開始した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・花き生産者等の連携が図られた。 ・平成21年度は市が主催となり実施したが、イベント内容からして、花き生産者が中心となる関係機関・団体等が主体で実施した方が望ましいのではないかといい意見があったことから、平成22年度以降は実行委員会形式で実施することとした。 ・当イベントの原資となっている寄附金は平成25年度をもって使い切り、翌年度からは各店舗より出店料を徴収し、開催することとした。 ・平成28年度の売上から、10%を花き研究会で徴収し、29年度の費用とすることとした。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・これまで、市内で同種の継続的なイベントがなかったことから、来場者から今後も継続してほしいという要望が寄せられている。 ・世界の椿館・墓石の自主事業との相乗効果があり、良好な賑わいを作ることができた。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	当イベントを通じて、大船渡市産花きへの理解と関心を高めるとともに、より多くの市民等に対して大船渡市産花きの利用促進に努めることで、将来的に花き生産の振興につながり、市の農業振興が図られることから、政策体系に結びついている。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市は、実行委員会の一員として、また、農業振興を率先して推進する立場から、本市農業の基幹作物であり、多くの市民等から親しまれている花きの振興を図るために、本事業へ積極的に関与する必要がある。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	直接的な対象は、本事業を遂行するために設立される実行委員会であり、また、より多くの市民等に対して大船渡市産花きの販売促進とPRに努め、本市の花き振興を図ることを目的とするものであることから適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	事業を継続的にを行い、市民等への更なる浸透を図るとともに、実行委員会でイベントを盛り上げる魅力的な企画・運営を行えば、成果の向上が期待できる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	当市農業の基幹作物である花き振興の推進を阻害する恐れがある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	花壇苗等花きをメインとしたイベントは、本市では当該事業のみである。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	当該イベントに必要な最低限の予算を要求している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	平成22年度から実行委員会形式とし、花き生産者等が主体で企画・運営を行うことを検討しているが、現在のところ実行委員会の事務処理等を市で担わなければ実行委員会の運営が困難であることから、削減余地はない。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	花き振興を図ることを目的としている事業であること、また、受益者負担を伴わない事業であることから、公平・公正である。	

事務事業ID	1341	事務事業名	花き振興事業
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 花き生産者を中心とする関係機関・団体等が主体となり実施し、より効果的なイベントを企画・運営することが望ましい。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) より多くの市民・観光客に大船渡市産花きを活用してもらうために、イベント内容の充実とPRの強化を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者 農林課長	田中 聖一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 開催時期の見直し、PR・内容の工夫次第では成果の向上が図られる。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 来場者が多い基石海岸観光まつりと併せて開催できないか検討する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
